

WHO ファクトシート

ブルーリ潰瘍

(マイコバクテリウム・ウルセランス感染症)

Buruli ulcer

(*Mycobacterium ulcerans* infection)

2018 年 4 月

重要な事実

- ・ブルーリ潰瘍は、慢性の全身衰弱をもたらす疾病で、マイコバクテリウム・ウルセランス菌によって引き起こされる。
- ・しばしば皮膚や時として骨に影響を与え、恒久的な外観損傷や長期間の障害につながる可能性がある。
- ・アフリカ、南アメリカ及び西太平洋地域の熱帯、亜熱帯及び温帯気候の少なくとも 33 カ国でブルーリ潰瘍の症例報告がある。オーストラリアでは 2013 年以來、報告症例が増加している。
- ・2017 年の 13 カ国からの部分的なデータによれば、2016 年の 1920 件に比較し、2206 件となっている。ほとんどはオーストラリアとナイジェリアからの症例報告である。
- ・アフリカでの患者のほとんどは 15 歳未満の子どもたちであり、オーストラリアの患者のほとんどは成人である。
- ・伝染の仕方はわかっておらず、この疾病の予防法はない。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい (改定前)

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Buruli ulcer ファクトシート原文は [こちら](#)